

(2) 福祉事業を志す子

① 在籍状況

氏名	性	所属
M・M	女	W高1年

② 問題の概況

- ア、福祉事業にはどんなものがあるか教えてもらいたい。
 イ、そのために、進学をどうしたらよいか知りたい。

③ 問題の起始経過

- ア、高校1年の終わりをむかえて、進路について相談したい。(県民便りみて)
 イ、福祉事業関係に従事したいと思っている。
 ウ、福祉についての知識がないので教えてもらいたい。

④ 指導の方針

- ア、福祉事業についての説明と資料の提供をする。
 イ、質問に答える。

⑤ 指導の経過

- ア、二つの質問に卒直に答える。
 イ、資料11枚写しをとってあげる。
 - 社会福祉を志すひとに
 - 福祉厚生関係従事者の資格
 - そのたの資料
 ウ、結論として上級学校(大学)進学が前提であることを知り、進学コースを選びたいとの連絡があった。
 エ、進学校の紹介依頼があったので、東北福祉大学(仙台)日本福祉事業大学(東京)日本福祉大学(名古屋)を紹介する。

※ 青少年赤十字(J・R・C)に入団していて、福祉社会を夢にえがき、理想実現の第一歩をふみだそうとする決意を激励する。

(3) 年上の人が好きになった子

① 在籍状況

氏名	性	所属
Y・K	男	W中3年

② 問題の概況

- ア、年上の人と知りあって好きになってしまった。
 イ、文通・面会しているがこれ以上進んではいけないのか悩んでいる。

③ 問題の起始・経過

- ア、去年の夏、ある女性と知りあった。
 イ、文通している(姉さんとよぶ)
 ウ、2月に2回会った。(好きになった。)
 エ、教育相談を受ける。
 - 年上ではいけないか(七つ上)
 - 文通・面会以上はいけないか。
 - 本当の愛とは何か。

④ 指導の方針

- ア、男女交際の基本的態度を考えさせる。
 イ、いまやるべきことについて助言する。

⑤ 指導の経過

- ア、男女交際の基本的態度を検討する。
 - 友情と恋愛を混同しない。
 - お互いに人格を尊重する。
 - 自分の考えを明確にする。
 イ、友情の美しさを体験したのはよいがそれ以上のことはあと5～7年たってから考えるようすすめる。
 ウ、いまやるべきことについて助言する。
 - 受験に全力を集中すること
 - 姉さんに心配をかけないこと
 - 相談にはいつでも応ずるので、心配な時は来所すること

※ 人生の中で大きな心の試練を受ける思春期の生徒をよく理解し、難関を克服する手段を示して励ますことが肝要である。